

令和5年度 江戸川区立小学校 学校関係者評価 最終評価報告書

学校教育目標	生きる力を養う ○考える子(確かな学力) ○思いやりのある子(豊かな心) ○元気な子(健やかな体)	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	○「成長」のある学校、「信頼」のある学校、「使命」のある学校 ○「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をもった児童 ○生きる力を養える教師 保護者・地域を共感させられる教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果>開校140周年・新校舎落成記念の取組による地域・保護者連携の深化、学習指導要領にに基づく学習指導の重点化と研究推進並びに教育課題実践推進の発表、いじめ・不登校に対する組織的対応の充実、組織的運営と働き方改革に基づく取組の充実 <課題>新学習指導要領に基づく思考力等の育成の具現化、あいさつや基本的生活習慣の定着のための学校・家庭・地域の連携、教職員の自律的組織的運営の定着と、働き方改革の一層の推進、コロナ禍の教育活動と学校運営の推進		

教育委員会重点課題	<取組項目>・評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価		年度末に向けた改善策	
				取組	成果	成果と課題	評価		コメント
学力の向上	<学力の向上> ・授業改善の推進 学習の基礎となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・区アクションプランとコアプラン等に基づく、確かな学力向上 ・思考力表現力判断力等を養う問題解決的な学習「小岩小授業モデル」の推進 ・放課後補習教室による継続的な学習支援 ・「江戸川っ子study week!」の実施	・全教員の授業公開実施 50回以上 ・校内研究による検証 5回 ・補習教室 年150回実施 ・連携教育プログラム検証 2回 ・「江戸川っ子study week!」のドリルパーク100%実施	A	A	・学力調査 国語AB層52.6% CD層47.5% ・算数AB層54% CD層46% ・内部評価:成果AB83% CD17% ・補習教室(外部活用) 70回実施 ・ドリルパーク(study week)全学級実施 ・課題:国語CD層、算数D層を重点に改善 ・全国学力調査 研究開始比較 国語3.6P上算数4.1P上	A	評議員:「小岩小授業モデル」に基づいて、授業が展開されることや各クラス間でノートの書き方が同じであることで、子供たちが安心して学習できている。	・東京ベーシックドリルや補習教室を活用した基礎・基本の徹底。 ・算数科を中心とした校内研究の成果と課題を生かした授業改善。 ・ドリルパークを使った、家庭学習の促進。 ・習熟度別少人数授業によるCD層への個別指導のさらなる充実。
	<読書科の更なる充実> ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実	・問題解決的な学習と運動した人や社会、自然に関わる探究的な学習活動の全学級実施 ・図書室の電算化システムの実施及び整備 ・区の巡回司書による、図書館活用の推進、図書を活用した授業の実施	・図書ボランティアによる読み聞かせ 10回 ・探究的な学習活動 各学級3回以上 ・電算化システムの活用 全教員100% ・巡回司書による図書活用授業 全学級実施	B	B	・図書ボランティアによる読み聞かせ 回 ・探究的な学習活動 各学級1回以上、問題解決結果をまとめた。 ・電算化整備完了、10月より活用実施 ・巡回司書活用による授業実施 学級	B	評議員:朝読書の時間が有り、読書習慣に繋がっている。さらに学校図書館を活用した探究型の授業を期待する。	・電算化による図書館活用率を向上させ、児童の読書への関心を高める授業。 ・巡回司書との連携による、管理、運営の徹底。 ・探究的な学習の実践を共有し、更なる授業改善を図る。
体力の向上	<運動意欲や基礎体力の向上> ・運動意欲の向上に向けた取組の実施、充実	・小岩ムーブ(準備運動版と整理運動版)の全校実施 ・小岩ムーブ(運動遊び版)の全校実施 ・日常体育の充実	・小岩ムーブ各学級実施 100回以上 ・運動遊び版(休み時間) 35回 ・日常体育全学級 問題解決的な学習(小岩小授業モデル)の取り入れ780回 ・保護者評価90% 内部評価90%	B	B	・小岩ムーブ各学級平均40回以上実施 ・体育学習における問題解決的学習の実施 ・内部評価AB% CD% ・課題:小岩ムーブ(遊び版)の休み時間実施回数向上	B	評議員:昨年度までのコロナが明けたことや校庭が完成したことによる今年度の体力向上に関する取組の成果が出ている。	・小岩ムーブの実施回数向上と、運動のポイントを押さえた質的な向上を目指した指導。 ・体育科における問題解決的学習の実施と指導法の共有による授業改善。
	<特別支援教育の推進> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実	・「自他尊重と共生」に基づく通常級と巡回・弱視の連携・相互支援に基づく特別支援教育の推進 ・対象児童3名との交流	・授業公開実施 20回以上 ・個別対応会議実施 20回以上 ・ユニバーサルデザイン掲示 全学級実施 ・文書や交流会を通じた復籍児童との交流10回	B	B	・巡回・弱視授業公開7回実施 ・個別対応会議実施 ・ユニバーサルデザイン掲示、年度当初から全学級実施 ・課題:復籍児童との交流による学びの機会を増加	B	評議員:通常学級と特別支援の先生が連携、相互支援している体制がよい。	・人権教育や特別支援教育、日常の授業、学校生活など様々な指導場面で「自他尊重と共生」の姿勢を養う、総合的な指導育成の実施
共生社会の実現に向けた教育の推進	<全校で自他尊重と共生の姿勢を養う取組の充実> ・SDGs委員会を中心とした環境保護整備 ・学習発表会(高学年)	・各委員会にSDGsの取組実施・発表 ・人権についての学習発表(5年生) ・共生社会についての学習発表(6年生)	・評議員評価100% 内部評価90%	A	B	・学習発表会にて5・6年生の学習発表 ・小岩小まつりでのSDGs委員会の自主運営企画	B	評議員:学習発表会の機会を活用して、共生の姿勢を養うことができています。	・SDGs委員会の取組を発表し、各委員会でも協力して進める。
	<子どもたちの健全育成に向けた取組> ・不登校対策の実施・充実 ・教育相談の強化 ・hypeaer-QUの活用	・個別対応会議、学校相談、迅速な指導の実施 ・生活指導連絡協議会との連携 ・hypeaer-QUの結果を基にした学級経営	・いじめ解消100%、不登校0件 ・生活指導連絡協議会事例の校内活用 2回 ・hypeaer-QU 居心地のよい学級とする児童90%	B	B	いじめ解消56件、対応中16件、不登校5件対応中	B	評議員:SNSルール等の徹底を今後も継続してほしい。迅速な対応・指導を大切にしたい。	・関係機関や家庭との連携を一層強化し、いじめ解消100%、不登校0件の達成に向けて取り組む。
子どもたちの健全育成	・小岩小学校スタンダードの全校実施 質的向上	靴揃え 右側歩行 時間行動 あいさつ 環境保護整備の取組	・保護者評価90% 内部評価90%	A	A	・あいさつ名人の取組、全学級実施 ・地域、他校と協働したあいさつ標語コンクール実施 内部評価AB83% CD17%	A	評議員:場や相手に応じた挨拶を進んでできる児童が多い。あいさつ標語も力作が多かった。	・学校、地域、家庭並びに小中のさらなる連携により、挨拶の質向上・充実
	<自校(園)の取組の積極的な発信> ・学校(園)ホームページの充実等 ・学校(園)公開の実施・充実	・学校ホームページの定期更新による情報提供 ・学校公開による全学級授業公開と学習活動の工夫と充実	・各学年情報発信 月2回×学年・専科 ・委員会、クラブ活動の情報発信 全クラブ委員会各1回以上 ・小岩小モデルを活用した授業実践 全学級実施 ・SNS情報モラルや歯磨き指導等工夫した学習教材の活用	A	B	・学校ホームページ各学年等月2回以上更新 ・学校ホームページを活用した全学級授業公開の実施 ・学校公開を活用したSNS情報モラル、歯磨き指導の全学級実施。	B	評議員:小岩小モデルの活用により、授業展開やノート指導に一貫性があり、児童が安心して学習できる。情報モラル、歯磨き指導を家庭と連携して引き続き指導をお願いしたい。	・小岩小モデルを活用した授業の質的向上。 ・歯磨き指導の継続と、歯を大切にしようとする意識の向上。 ・ホームページを活用した情報発信の充実。
地域に広く開かれた学校(園)の実現	<学校関係者評価の充実> ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	・教職員:自己評価と自己申告を連動させた評価 ・保護者:本校の重点目標を焦点化したアンケート評価 ・学校評議員:総合的な評価、評議員会による意見聴取	・中間評価と年度末評価の実施 ・各重点目標(本評価取組):前年度比向上	B	B	・教職員:自己評価と自己申告を連動実施 ・学校評議員の実施:①経営方針や取組説明 ②教職員等の評価をもとに総合的な評価、意見聴取 ・保護者アンケートは今後実施予定	B	評議員:学校内部の評価だけではなく、学校評議員の評価等も伝えていることがよい。	・教職員の評価と自己申告、保護者アンケート、学校評議員評価が連動した学校評価の継続により、教育活動や学校運営の一層の改善。
	<あいさつでの定着(生活スタンダード)> ・児童自ら進んであいさつができるようにする心の育成	・学校、PTA、地域、近隣校の運動によるあいさつの指導の充実 ・あいさつマスター、あいさつ名人の設定による相手や場に応じたあいさつの充実	・教職員自己評価:AB80%以上 ・学校評議員:B以上 ・あいさつマスター全員取得、三段50%取得 ・保護者評価90% 内部評価90%	A	A	・内部評価AB100% ・あいさつマスター約90%取得、三段%(9月現在)	A	評議員:地域でも児童がよくあいさつをしている。児童が目標をもって取り組んでいる。引き続き指導を継続してほしい。	・あいさつマスター全員取得 ・学校、地域、家庭並びに小中のさらなる連携により、挨拶の質向上・充実
特色ある教育の展開	<歯磨き指導> ・自分の歯を大切にすることを知識と歯磨きをする習慣を育てる	・給食後の歯磨き全学年毎日実施 ・フッ化物洗口実施 ・歯に関するポスター、作文コンクール	・保護者評価80% 内部評価80%	A	A	・給食後歯磨き全学級毎日実施、フッ化物洗口10月中旬より実施予定。 ・歯っぴープロジェクトによる、児童の意欲喚起と地域、家庭と協力した歯磨き指導。	A	評議員:地域、家庭と学校が連携して取り組んでいる点が良い。	・歯っぴープロジェクトの継続指導と、各家庭と連携した個別指導により不処置児童数の減少を目指す。